

2. 火山の概況 (平成 15 年 7 月 3 日 ~ 平成 15 年 7 月 9 日)

浅間山では地震が一時やや多発した。三宅島では噴煙活動が継続し、多量の火山ガスの放出が続いた。阿蘇山では中岳第一火口の浅部の熱的な活動が活発で、地震が一時多発した。薩摩硫黄島、諏訪之瀬島では小規模な噴火があった。

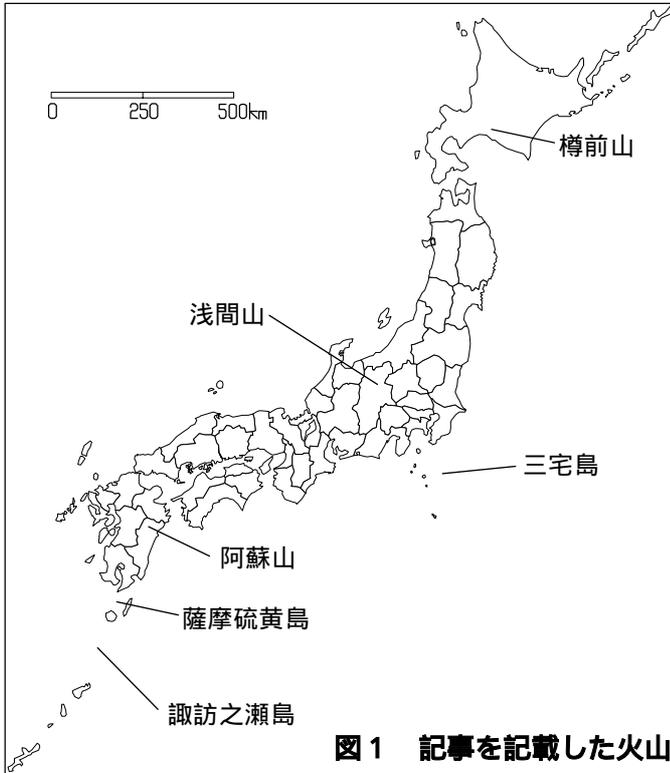


図 1 記事を記載した火山

表 1 最近 1 か月に記事を記載した火山

号	対象期間	十勝岳	樽前山	蔵王山	浅間山	伊豆東部火山群	三宅島	阿蘇山	薩摩硫黄島	諏訪之瀬島
28	7/ 3- 7/ 9									
27	6/26- 7/ 2									
26	6/19- 6/25									
25	6/12- 6/18									
24	6/ 5- 6/11									

注 1 記号の意味

- ：噴火した火山
- ：観測データ等に变化があった火山
- ：前期間までに掲載した火山の、その後の状況等

注 2 本文の火山名の後ろの[噴煙・噴気・地震・微動・空振・地殻変動・熱・火山ガス等]は、变化があった観測データ項目を示す。

樽前山 [熱]

6 日夜から 7 日朝にかけて、高感度カメラでドーム南西噴気孔群が明るく見える現象を観測した。昨年 4 月 27 日 ~ 30 日にも同様な現象を観測しているが、今回は昨年に比べて小規模で、噴気活動が活発化した様子はなく、地震活動や地殻変動にも変化はなかった。

このような現象は、高温のため硫黄が自然発火することによるものと考えられ、今後とも同様の現象が観測される可能性がある。

浅間山 [地震・微動・熱]

前期間の 6 月 29 日以降振幅の小さい地震が増加し、7 月 5 日 ~ 8 日にはやや多発し、日回数が 80 回を超えた。9 日以降は減少傾向がみられ、9 日には 63 回、10 日には 38 回となっている。この地震活動に関連して、その他の観測データに変化はなかった。

振幅の小さい微動が 10 回発生したが、火山灰の噴出は確認されなかった。

噴煙の状況は、今期間は雲により確認できない日が多かった。確認できた 3 日、4 日には、白色噴煙の放出が継続しており、最高は火口縁上 300m であった (前期間 100m)。

群馬県林務部設置の高感度カメラ及び赤外カメラによる火口内の観測では、火口底が明るくなる現象が引き続き観測された。

GPS による地殻変動観測では、特に異常な変化は観測されなかった。

三宅島 [火山ガス・噴煙]

7 月 9 日に気象庁が行った火山ガス観測¹⁾では、二酸化硫黄の放出量は日量約 5,000 ~ 7,000 トンと、長期的には低下傾向がみられるものの依然多い状態であった (図 2)。

また、同時に気象庁、産業技術総合研究所及び大学合同観測班が行った上空からの観測¹⁾では、火口内やその周辺は雲のため見ることはできなかったが、白色噴煙の放出が継続し、火山ガスを含む青白い噴煙が火口上空から南西へ流れていた。

監視カメラによる観測では、白色噴煙は連続的に噴出しており、高さの最高は火口縁上 800mであった（前期間 500m）。

地震の発生回数は少ない状態で推移した。

GPS による地殻変動観測では、特に異常な変化は観測されなかった。

1) 警視庁の協力による

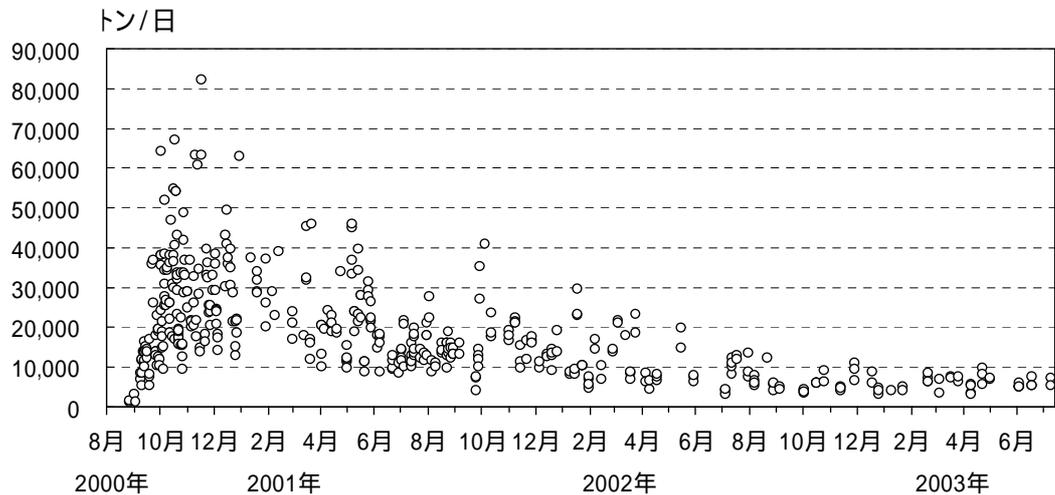


図2 三宅島 二酸化硫黄放出量の推移（2000年8月26日～2003年7月9日）

阿蘇山 [地震]

前期間の6月29日から多くなった微小なB型地震は、今期間もやや多い状態で推移した。日回数は5～40回、合計は128回であった（前期間は229回）。この活動に関して、A型地震や孤立型微動の発生状況、その他の観測データに特に異常な変化は観測されなかった。

噴煙の状況は、今期間は雲により確認できない日が多かった。唯一確認できた7月3日には、白色噴煙が連続的に噴出しており、最高は火口縁上 200mで特段の変化はなかった（前期間は500m）。

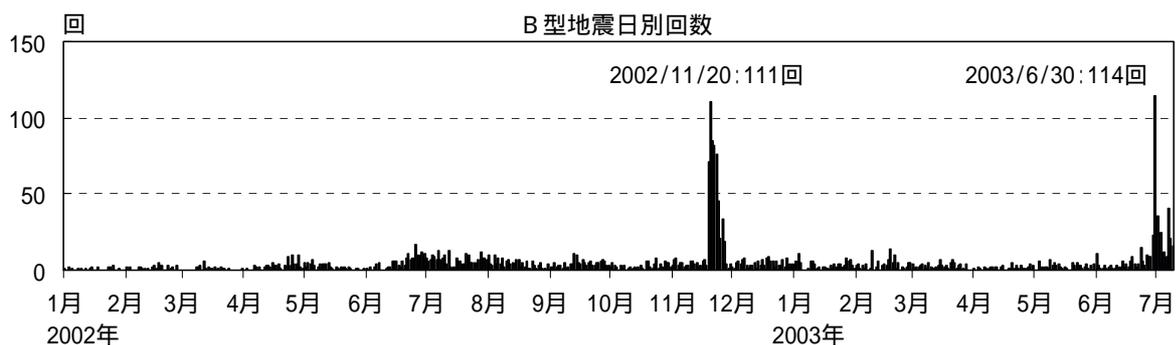


図3 阿蘇山 B型地震（日別回数）の推移（2002年1月1日～2003年7月9日）

薩摩硫黄島 [微動・降灰]

前期間の2日14時40分に始まった連続微動が期間を通して継続し、火山活動はやや活発な状態で推移した。

三島村役場硫黄島出張所によると、島内の集落（硫黄岳の西約3km）で7日に微量の降灰が確認された。

諏訪之瀬島 [爆発・噴煙・鳴動・微動・地震]

4日02時頃から微小な地震が増加し、同日10時頃からは連続微動状態になった。そのような中、爆発的噴火が4日に7回、5日に13回の計20回発生し、火山活動は一時活発になった。

監視カメラによる観測では、4日、5日、8日に火山灰を含む灰白色の噴煙が最高で700～800mまで上がるのが観測された。

十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、島内の集落（御岳の南南西約4km）では4日に時々鳴動が聞こえた。

火山活動は5日18時の爆発的噴火の後、徐々に収まった。

表2 火山情報発表状況

火山名	情報の種類及び号数	発表日時	概要
浅間山	火山観測情報第7号	8日11:00	微小な地震が増加。
三宅島	火山観測情報第364号 (1日2回発表)	3日09:30	活動経過ほか(噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動の状況、上空からの観測結果、及び上空の風・火山ガスの移動予想)。
	火山観測情報第377号	9日16:30	
阿蘇山	火山観測情報第10号	7日11:10	地震が次第に減少。
諏訪之瀬島	火山観測情報第6号	5日09:40	火山活動活発(爆発・地震・微動の状況)
	火山観測情報第7号	7日11:00	火山活動は収まってきた。